

岳北消防本部出動回数 2月

	飯山市	木島平	野沢温泉	栄	広域協定区域	管轄外	計
火災	0	0	1	0	0	0	1件
救助	0	0	1	0	1	0	2件
救急	91	32	39	11	10	0	183件
今月の標語：火の危険 知ってるだけじゃ 意味がない							

飯山市内の交通事故件数 (1月からの累計)

	事故発生件数	死者	傷者
2月末	18	0	28
前年同期	14	0	20
今月の標語：思いやり 若葉へ紅葉へ歩行者へ			

千曲川表流水の水質検査結果 (2月5日採水)

検査項目	環境基準	2月の測定値
pH	5.8～8.6	6.8
BOD	2.0以下	1.4

岳北クリーンセンターごみ処理量

	燃えるごみ	燃えないごみ	計	プラスチック
2月	424トン	25トン	449トン	13トン
前年同月比	104%	83%	103%	101%
1月から、燃えるごみが増加傾向にあります。3月はごみが出やすい時ですが、がんばって分別に努めましょう。				



災害時応援協定を結ぶ山梨市から、山梨青年会議所などが主催する「雪の自然探偵団」の一行53名が2月10・11日に飯山を訪問。参加した山梨市の子供たちが、雪まつり等イベントの見学や、除雪・雪遊びなど雪国の生活を体験しました。

飯山市の気象 2月

平均気温	－2.3℃ (-0.7℃)	※データは長野地域気象観測月報による。
最高平均気温	1.9℃ (-0.5℃)	観測地点は飯山地域気象観測所（小沼）。
最低平均気温	－7.1℃ (-1.0℃)	
日照時間月計	97.9時間 (106%)	()内は平年との比較、ただし積雪量は昨年同期。
降水量月計	159mm (109%)	
積雪量 (2月29日)	124cm (0cm)	

飯山市の人口と世帯 (2月29日現在)

 総人口 25,007人 (+2人)	 男 12,098人 (+3人)	 女 12,909人 (－1人)	 世帯数 8,141 (+3)
出生：18人 死亡：25人 転入：40人 転出：31人 その他：0人 ()内は前月との増減。住民基本台帳による			



木島平村 第47回全国青年農業者会議で 農林水産省経営局長賞

2月28日・29日、東京都渋谷区で行われた第47回全国青年農業者会議に、関東ブロック代表として木島平村内山地区の竹内芳次郎さんが出場。「パブリカの省力栽培への挑戦」と題した発表で、プロジェクト発表の部第2位となる農林水産省経営局長賞を受賞しました。発表後は意見交換会や全国から集まった農業者との交流会が行われたということです。

野沢温泉村 海と山の子交流会

今年で33回目となる千葉県御宿中学校と野沢温泉中学校による「山の交流会」が1月23日～25日の3日間、野沢温泉スキー場で行われました。御宿町からは1年生45名と保護者など、総勢70名がスキーに挑戦。あいにくの悪天候でしたが一面を銀世界に囲まれる経験がほとんどない生徒の皆さんは、寒気団を吹き飛ばすほどの大はしゃぎ。夏の「海の交流会」に続き行われた山の交流会で、お互いの友情も深まったようでした。



栄村 全日本スキー連盟公認大会開催

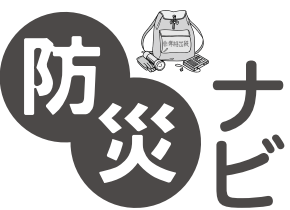
3月2日、さかえ倶楽部スキー場Dコースを会場に、全日本スキー連盟B級公認『第7回さかえ倶楽部GS大会』が開催され、近隣、県外から中・高・大学・社会人男女200名の選手が参加しました。このコースはさかえ倶楽部スキー場屈指のロングコースで、前方に苗場山や烏甲山が、眼下には蛇行する千曲川の流れが見える中上級者向コースです。選手達は雪煙を巻き上げながら難コースに果敢にアタックしていました。

届けて出もれや未納期間があつたら必ず相談しましょう
第3号被保険者期間の届け出もれや未納期間、または転職などで不明な期間があるときは、すぐに相談しましょう。
※平成20年4月から、保険料納付実績と年金の見込み額が、定期的に本人に通知されるようになります。その際、納付実績が点数化され、今

年金手帳があるか 確認しましょう
会社員は、事業主がまとめて保管している場合もあります。2冊以上ある人は、社会保険事務所で1冊にまとめてもらいましょう。
加入記録を問い合わせましょう
基礎年金番号により、年金の加入記録がわかります。社会保険事務所で調べてもらいましょう。

長野北社会保険事務所の出張年金相談
相談日 3月27日(木)
4月10日(木)・24日(木)
時間 午前10時～12時
午後1時～3時
場所 飯山商工会議所
(都合のうえ)利用ください

※国民年金制度についてわからないことがありましたら、左記までお問い合わせください。
市民課国保年金係
☎0263111 内線152
長野市吉田3-6-15
(JR北長野駅前)
☎026(244)4100(代)



第24回 自主防災組織の活動

前回の防災ナビでは自主防災組織の意義や必要性に触れました。今回は、実際に自主防災組織が行う活動の内容についてご紹介します。

平常時の活動

- ①防災への理解・協力を呼びかける
自主防災組織が効果的に活動し、災害を防ぐためには、地区内の各家庭の理解と協力が欠かせません。各家庭での防災対策を呼びかけたり、自主防災組織への参加を呼びかけます。
- ②災害に備えた情報収集
災害が発生したとき避難などに支援が必要な「災害時要援護者」(前回の防災ナビ参照)の状況を把握し、緊急時に効果的な支援ができるよう備えます。また、地区内の避難場所や避難路、災害時に危険になる場所などを確認し、地区内で情報を共有しておきます。
- ③災害時の行動計画の作成
前掲の情報などをもとに、災害の際にどのような事態が起きるかも考えて、計画を作ります。
- ④機材の整備と訓練
前述の計画などを参考に、緊急

時に必要な防災用の資材・機材をそろえておきます。また、それらの有効活用など災害発生時の行動を身につけるため、防災訓練に参加したり、自ら訓練を実施します。

災害時の活動

- ①情報収集と伝達
地区内の被害状況などを把握し、必要に応じて市や消防に伝えます。また、それらの機関から救援についての情報などがあつた場合は、地区の住民に周知します。
- ②初期消火
延焼を防ぐため、消火器やバケツリレーで応急的な消火活動を行います。
- ③避難誘導と負傷者の救出・救護
地区住民などの安全確認を行ない、必要な場合は要援護者への援助などを行って避難をします。負傷者がいた場合は、救出や軽症者の応急手当などを行います。
- ④物資の分配
備蓄品がある場合や、救援物資が届いた場合は、それらの運搬や分配を行います。

他の組織・団体等との協力

大きな災害の際の助け合いのため、他の地区の自主防災組織とも情報交換をし、協力体制を作ります。また、訓練や活動で協力しあえるよう、地元消防団や学校、民生委員等とも連携をとります。

※自主防災組織についてのご相談・お問い合わせは、市役所庶務課 消防防災係(☎0263111 内線3009)まで。